

伸長する半導体市場での積極的投資により、重点事業分野である電子材料事業を更に拡大
最先端半導体材料に対応した生産設備を熊本に新設

—国内初の CMP スラリー生産体制を確立—

2022年9月8日

富士フイルム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長・CEO：後藤 禎一）は、電子材料事業を更に拡大するため、約 20 億円を投じて最先端半導体材料に対応した生産設備を熊本に新設します。

今回、電子材料事業の中核会社である富士フイルムエレクトロニクスマテリアルズ株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：榎戸 雅史、以下 FFEM）が、熊本県に立地する当社生産子会社の富士フイルム九州株式会社に、半導体製造プロセスの基幹材料である CMP^{※1} スラリーを生産する最新鋭設備を導入します。尚、本設備は、2024 年 1 月の稼働を予定しており、当社としては国内初の CMP スラリー生産設備となります。

AI/IoT や 5G の進展、自動運転の普及・拡大などにより、半導体の需要拡大と高性能化が見込まれています。このような中、半導体製造プロセスで使用する半導体材料では、より高品質・高性能な製品を安定的に供給することがますます重要となっています。

CMP スラリーは、硬さの異なる配線や絶縁膜が混在する半導体表面を均一に平坦化する研磨剤で、その市場は年率 10%で成長すると見込まれています。当社は、米国・台湾・韓国に CMP スラリーの生産拠点を有し、安定供給と品質に対する高い顧客要求に応え続けることで、同製品の市場伸長を大きく上回る売上成長を達成しています。

今回、当社は、CMP スラリーの国内生産化と生産能力増強に向けて、設備投資を行います。FFEM が、ディスプレイ材料の主要生産拠点である富士フイルム九州の工場内に、CMP スラリーの生産設備や品質評価機器を導入。新たな設備・機器と、ディスプレイ材料にて顧客の高い品質要求に応えてきた富士フイルム九州の人材・生産ノウハウなどを組み合わせ、高品質・高性能な CMP スラリーを生産していきます。

今後、当社は、世界 4 拠点の生産体制の下、CMP スラリーの安定・迅速供給を実現することで、更なるビジネス拡大を図っていきます。また、研磨後の不純物を取り除くポスト CMP クリーナーを有する強みを生かしたトータルソリューション提案で、顧客が抱える課題を解決し、半導体の更なる性能向上に寄与していきます。

当社は、CMP スラリー・ポスト CMP クリーナーのみならず、フォトレジスト^{※2} やフォトリソ周辺材料、ポリイミド^{※3}、イメージセンサー用材料^{※4} などの幅広い製品ポートフォリオ、グローバルの安定供給体制、高い研究開発力、顧客との強固な信頼関係を強みに、積極的な設備投資などの成長戦略を推進し、電子材料事業の持続的成長を図るとともに、半導体産業の更なる発展に貢献していきます。

※1 Chemical Mechanical Polishing（化学的機械研磨）の略。

※2 半導体製造工程で、回路パターンの描画を行う際にウエハー上に塗布する材料。

※3 高い耐熱性や絶縁性を持つ材料で、半導体の保護膜や再配線層の形成に使用される。

※4 デジタルカメラや携帯電話に用いられる CMOS センサーなどのイメージセンサーのカラーフィルターを製造するための着色感光材料製品。

<設備投資の概要>

1. 場所	熊本県菊池郡菊陽町（富士フイルム九州株式会社の工場内）
2. 総投資金額	約 20 億円
3. 投資内容	CMP スラリーの生産設備・品質評価機器など
4. 着工時期	2023 年 4 月
5. 稼働開始時期	2024 年 1 月

本件に関するお問い合わせは下記にお願い致します

【報道関係】

富士フイルムホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
TEL 03-6271-2000

【その他】

富士フイルムエレクトロニクスマテリアルズ株式会社 経営企画部 TEL 045-534-8824